

みずほCustomer Desk Report 2022/07/21 号 (As of 2022/07/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	138.18 AUD/USD
TKY 9:00AM	138.19	1.0232	141.40	1.2004	0.6895
SYD-NY High	138.38	1.0273	141.90	1.2034	0.6930
SYD-NY Low	137.91	1.0156	140.43	1.1954	0.6873
NY 5:00 PM	138.27	1.0181	140.71	1.1980	0.6890

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,874.84	47.79	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	11,897.65	184.50	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,959.90	23.21	米国2年債	3.2346%	▲0.0060%
日経平均	27,680.26	718.58	米国5年債	3.1663%	0.0077%
TOPIX	1,946.44	43.65	米国10年債	3.0294%	0.0019%
シカゴ日経先物	27,605.00	205.00	独10年債	1.2570%	▲0.0145%
ロンドンFT	7,264.31	▲ 31.97	英10年債	2.1415%	▲0.0340%
DAX	13,281.98	▲ 26.43	豪10年債	3.5780%	0.0460%
ハンセン指数	20,890.22	229.16	USDJPY 1M Vol	10.81%	▲0.99%
上海総合	3,304.72	25.29	USDJPY 3M Vol	11.11%	▲0.60%
NY金	1,700.20	▲ 10.50	USDJPY 6M Vol	11.10%	▲0.45%
WTI	99.88	▲ 0.86	USDJPY 1M 25RR	▲0.88%	Yen Call Over
CRB指数	287.04	1.57	EURJPY 3M Vol	13.04%	▲0.24%
ドルインデックス	107.08	0.39	EURJPY 6M Vol	12.89%	▲0.25%

東京	東京時間のドル円は138.19レベルでオープン。日経平均株価が大幅上昇する動きに138.38まで上昇するも、仲値後に実需の円買いが優勢となり反落し、一時137.91までつける。ただし138円を割り込んだ水準ではドル買いに支えられ底堅い動きとなり、オープンと同水準の138.21レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は138.21レベルでオープン。日銀や欧州の金融政策決定会合を控え様子見ムードの中、26銭以内の小幅推移となり、138.15レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は138円台前半でスタート。前日の米株高を好感し、上昇する日経平均株価を眺めながらドル円も138.38をつけるも、東京仲値後に円買いが強まり138円ちょうど付近まで反落。その後、一時的に138円を割り込む場面が何度あったが、一巡後は138.20の水準を維持し、138.15レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受けて、137.97まで下落。朝方発表された米6月中古住宅販売件数は予想を下回るも市場は特段反応せず。その後米金利が上昇に転じる動きが買いをサポートし、138.20近辺まで上昇。午後はNY高値圏で小動き。日銀金融政策決定会合を控える中、様子見ムードが強く、最後まで方向感はず、結局138.27レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.02台半ばでの小動きでスタート。21日のECB理事会で50bpsの利上げ期待を背景に1.0273まで上昇する場面もあったが、イタリアの政局混迷やフォンデアライエン欧州委員長がEU加盟国に対してガスの使用量削減を呼び掛けたことが嫌気され、ユーロ売りが強まり1.0173まで下落し、1.0190レベルでNYオープン。朝方は1.0237まで戻す場面もあったが、その後は米金利上昇を受けて上値が圧迫され、海外時間安値(1.0173)を下抜けると1.0156まで売り込まれた。午後は買い戻し優勢で1.0180近辺まで戻すも、その後は伸び悩み、結局1.0181レベルでクローズ。

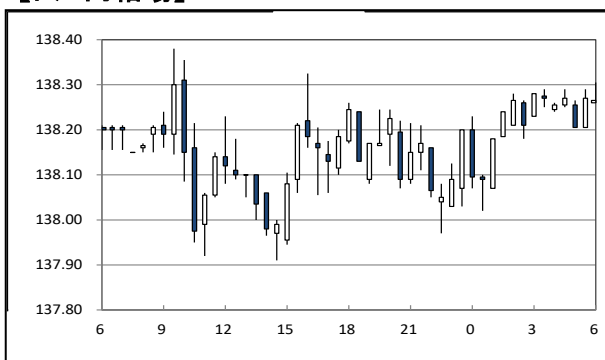
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月20日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	6月 0.8%/9.4%	0.7%/9.3%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	6月 0.6%/32.7%	1.5%/33.7%
	23:00	米 中古住宅販売件数	6月 5.12m	5.35m
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	7月 -27.0	-24.9

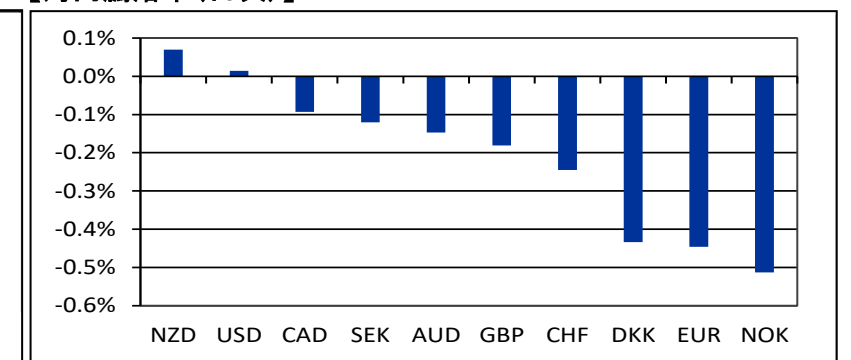
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月21日	-	日 日銀 金融政策決定会合	21-Jul -0.10%	-0.10%
	15:30	日 黒田日銀総裁 会見	-	-
	21:15	欧 ECB主要政策金利	21-Jul 0.25%	0.00%
	21:15	欧 ECB預金ファシリティ・レート	21-Jul -0.25%	-0.50%
	21:45	欧 ラガルドECB総裁 会見	-	-
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	7月 0.8	-3.3
	21:30	米 新規失業保険申請件数	16-Jul 240k	244k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	137.50-139.30	1.0130-1.0250	140.00-142.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は138.19レベルでオープン。日経平均株価の上昇を受け、ドル買いが強まり一時138.38まで上昇。仲値にかけては円買い優勢に転じ、137.91まで下落するも底堅く138.21レベルで海外時間へ。ロシアの欧州への天然ガス供給がストップされるとの観測により米10年債金利が低下する中、ドル円も上値重しの展開となり、また日銀政策決定会合を控え、ドル円も様子見ムードの中、狭いレンジで推移し138.27レベルでクローズした。本日のドル円は堅調推移を予想。日銀政策決定会合における金融緩和政策の方向性についての言及が注目されるが、黒田総裁在任期間中は少なくとも現行の金融緩和路線に変更がないと見られ、ドル円は上昇圧力が強まりやすいか。日銀の展望レポートについても、2022年度経済成長率の下方修正が予想されており、本邦景気動向を見極めるうえでこちらの内容にも注目しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・上遠野